

平成 19 年 11 月 27 日
日本原子力研究開発機構

将来世代の原子炉及び核燃料サイクルシステムの研究開発に関する
日仏専門家会合における JAEA-CEA 協力の報告内容について

11 月 7 日に開催された JAEA-CEA 二機関会合の結果がホスト国である
CEA 側から以下の項目について報告がなされた。

(1)原子炉研究・先進原子力システム

新型軽水炉、高温ガス炉、ナトリウム冷却高速炉、ガス冷却高速炉、
教育・訓練、シナリオ研究等の各分野における協力の現状

(2)先進燃料サイクル

先進湿式、乾式の燃料サイクルプロセス、MOX 燃料(MA 含有燃料を
含む)の製造プロセス、分離技術、核変換に関する協力の現
状

(3)原子力科学

核データに関する情報交換、炉物理、熱流動に関するコード開発と
ベンチマーク解析、大型計算技術、ネットワーク整備等の計算科学、
構造力学等に関する協力の現状

(4)デコミッショニング及び廃棄物管理

原子炉、その他の原子力施設の解体・デコミッショニング、中低レ
ベル廃棄物処理・保管技術、セメント固化体及びガラス固化体の長
期挙動に関する協力の現状

(5)研究施設利用

JAEA-CEA の包括協力取り決めの下で今年 7 月に締結した研究施設協
力に関する実施取り決めに基づき、常陽、JMTR、OSIRIS 等の両機関
の研究施設及び JHR 等の今後建設される予定の施設に関する協力に
ついての検討状況

以上